

2020年6月12日

成田空港の新型コロナウイルス感染症対策について

成田国際空港では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、様々な取り組みや対策を行っています。お客様が安心して当空港をご利用いただくため、各種施策の取り組みとともに航空会社や関係機関ならびに空港内事業者との連携による感染症対策を実施してまいります。

【成田空港での取り組み】

- **お客様・従業員への感染予防対策**
お客様へのマスク着用要請、従業員のマスクや手袋の着用、カウンター等での飛沫感染対策（フィルム等の設置）を行っています。
- **検温の実施**
国内線保安検査場前において、出発するお客様を対象にサーモグラフィーによる体温測定を実施しています。
- **消毒・清掃の実施**
お客様のタッチポイントであるエスカレーターの手摺や手荷物カートのハンドル等の清掃・消毒を強化するとともに、お客様の主要動線上である館内入口・保安検査場・入出国審査場前後等に手指消毒液の設置を行っています。
- **空港内の換気の強化**
空調機の運用については、外気取り入れ量の増、および空調運転時間の延長を実施しています。
- **ソーシャルディスタンスの確保**
ソーシャルディスタンス（並ぶ列や座席の間隔等）の確保を考慮した運用を行います。
- **お客様・空港内事業者向けの情報発信**
お客様に対して、館内放送やデジタルサイネージ、SNS等やアクセス事業者との連携により感染症対策のご案内・協力依頼を行うとともに、「成田空港の感染症対策の取り組みとお客様へのお願い」（動画2分程度）を作成し、ホームページやSNSにより発信します。また、空港内事業者には「成田空港新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を作成し、配布します。（6月19日までに配布予定）
- **今後の取り組みについて**
スタッフとの接触機会を減らすため、自動チェックイン機、自動手荷物預け機などセルフサービス型の搭乗手続きを拡充してまいります。更に、搭乗券やパスポートの都度提示が不要となる顔認証を活用した非接触型搭乗手続きを導入予定です。

【お客様へのお願い】

- ・ 空港にお越しの際は、体調をご確認の上、必ずマスクの着用をお願いいたします。咳エチケットの実施にご協力ください。
- ・ 発熱など体調がすぐれないお客様につきましては、来港および航空便のご利用をお控えください。
 - ※ マスクの着用に関しては、幼児または着用が難しい理由のあるお客様を除きます。
 - ※ マスクを着用されないお客様や体調がすぐれないお客様の空港への入場をお断りすることがございます。
- ・ こまめな手洗い、消毒液のご使用をお願いいたします。
- ・ 特に国際線利用のお客様は、検疫所が実施する PCR 検査等感染拡大防止へのご理解ご協力をお願いいたします。
- ・ カウンターなどの列に並ぶ際や待合スペースなどでは、ソーシャルディスタンスの確保をお願いいたします。
- ・ web チェックインなどを航空会社が提供している場合は、事前にチェックイン手続きをお済ませの上、ご来港ください。また、自動チェックイン機などセルフサービス型のお手続きを積極的にご利用頂き、スムーズなお手続きにご協力ください。

【空港内事業者様へのお願い】

- ・ 政府および各業界団体のガイドラインに沿った感染予防策、安全確保策の実施に努めるとともに、各事業者及び各々の業界の感染予防に関するポリシー、対応指示を優先に対応をお願いいたします。
- ・ また、感染予防、安全確保の観点から、従業員の健康管理の徹底など適切な対応をお願いいたします。

成田国際空港は、お客様及び従業員の安全を最優先に感染症の拡大防止に努めてまいります。

成田空港の新型コロナウイルス感染症対策 について

2020年6月12日
成田国際空港株式会社



Narita Airport

Connecting Japan to the World

成田空港における
感染症対策の
取り組み

お客様及び
空港事業者様への
お願い

今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、以下の取組みを実施

✓ お客様・従業員への感染予防対策

- ・お客様へのマスク着用要請、スタッフのマスクや手袋の着用、カウンター等での飛沫感染対策（飛沫感染防止フィルム等）

✓ 検温の実施

- ・国内線保安検査場前にて出発するお客様へのサーモグラフィーによる体温測定

✓ 消毒・清掃の実施

- ・薬用石鹼の設置、お客様のタッチポイント（エスカレーター手摺・手荷物カート等）の消毒・清掃強化、手指消毒液の設置

✓ 空港内の換気の強化

- ・空調機の運用については、外気取入れ量の増、および空調運転時間の延長を実施

✓ ソーシャルディスタンスの確保

- ・ソーシャルディスタンス（並ぶ列や座席の間隔等）の確保を考慮した運用

✓ お客様・空港内事業者向けの情報発信

- ・HP・SNS、館内放送やデジタルサイネージ等やアクセス事業者との連携による感染対策のご案内・協力依頼

- ・空港従業員への感染予防マニュアルの周知

✓ 今後の取組みについて

- ・セルフサービス型搭乗手続き（ファストトラベル）の拡充
- ・顔認証による非接触型搭乗手続き（One ID）の導入

● 成田空港においては、出発動線・到着動線において、以下の感染症対策を実施

出発

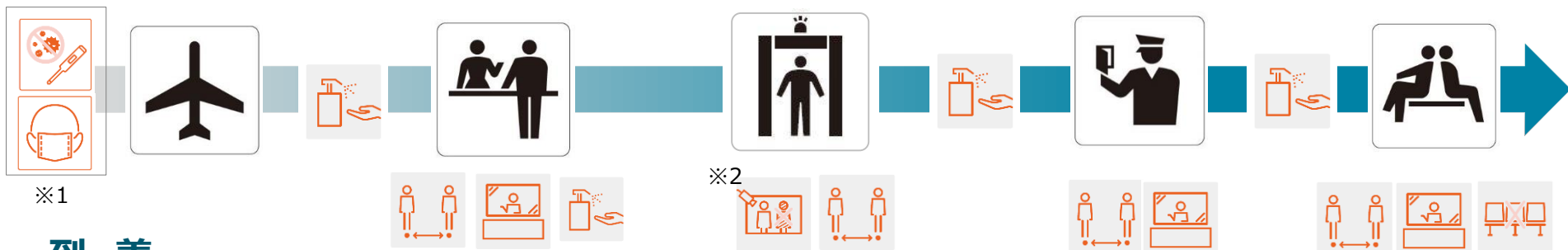
空港着

チェックイン

保安検査

出国審査

搭乗待ち



到着

降機

検疫 (PCR検査)
入国審査

手荷物受取
税関



<お客様へのお願い>

- 自宅での体調確認
- マスクの着用
- 手洗い消毒の徹底

<NAAの対策>

- 手洗い消毒の徹底
- 館内の清掃強化 (共通対策)
- 飛沫感染防止フィルム設置
- 座席数の制限
- ソーシャルディスタンスの確保
- サーモグラフィを利用した検温
- ターミナルの換気の徹底 (共通対策)

※1 マスクを着用されないお客様や体調がすぐれないお客様の空港への入場をお断りすることがございます。

※2 サーモグラフィによる検温は現在は国内線のみ実施中

成田空港における
感染症対策の
取り組み

お客様及び空港事
業者様へのお願い

今後の取り組み

● 感染予防対策として以下の取り組みを実施中

- HP等におけるお客様へのマスク着用要請、スタッフのマスクや手袋の着用
- カウンター等での飛沫感染対策(飛沫感染防止フィルム等)

<HP等でのマスク着用要請>



<マスクの着用>



<飛沫感染防止フィルム>



<お客様へのお願い>

ご来港の際には、体調をご確認の上、必ずマスクの着用をお願いいたします。

※マスクを着用されないお客様や体調がすぐれないお客様の空港への入場をお断りすることがございます。

<空港内事業者様へのお願い>

通勤時には、従業員のマスクの着用をお願いいたします。

勤務中には、勤務内容・就業場所に応じてマスク又はフェイスシールドの着用をお願いいたします。

- 現在、国内線保安検査場前にて、出発するお客様への検温を実施中
 - 発熱等、感染症の症状がみられるお客様に対して、航空便利用の自粛を要請
- ※なお、国際線については、今後示される国の指針に基づいて適切に対応する予定

<検温の様子>



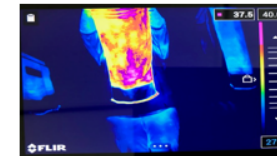
<検温の案内表示>

サーモグラフィによる検温実施中

成田国際空港では、航空機に搭乗する方に対してサーモグラフィによる体温の確認を行っております。
隣に設置のチラシをお受け取りになり、ご自身の体調について再度ご確認ください。

体温が37.5℃以上と測定された方は下図のようにピンク色に表示されます。

搭乗の取りやめ、日程変更をご希望のお客さまは、各航空会社のカウンターまでお越しください。



(例) 37.5℃以上の場合

<お客様へのお願い>

搭乗前にサーモグラフィによる体温確認を行っています。発熱が確認された場合は航空会社係員にご相談ください。

- 接触による感染症予防対策のため、以下の取り組みを実施中
 - トイレ内の水石鹸を薬用石鹸に入れ替え
 - お客様が多く触れる箇所(エスカレーター・手荷物カート・カウンター等)の消毒・清掃強化
 - ターミナル各所への手指消毒液の設置

<薬用石鹸の設置>



<清掃・消毒の様子>



<消毒液の設置>



<お客様へのお願い>

こまめな手洗い、消毒液のご使用をお願いいたします。

<空港内事業者様へのお願い>

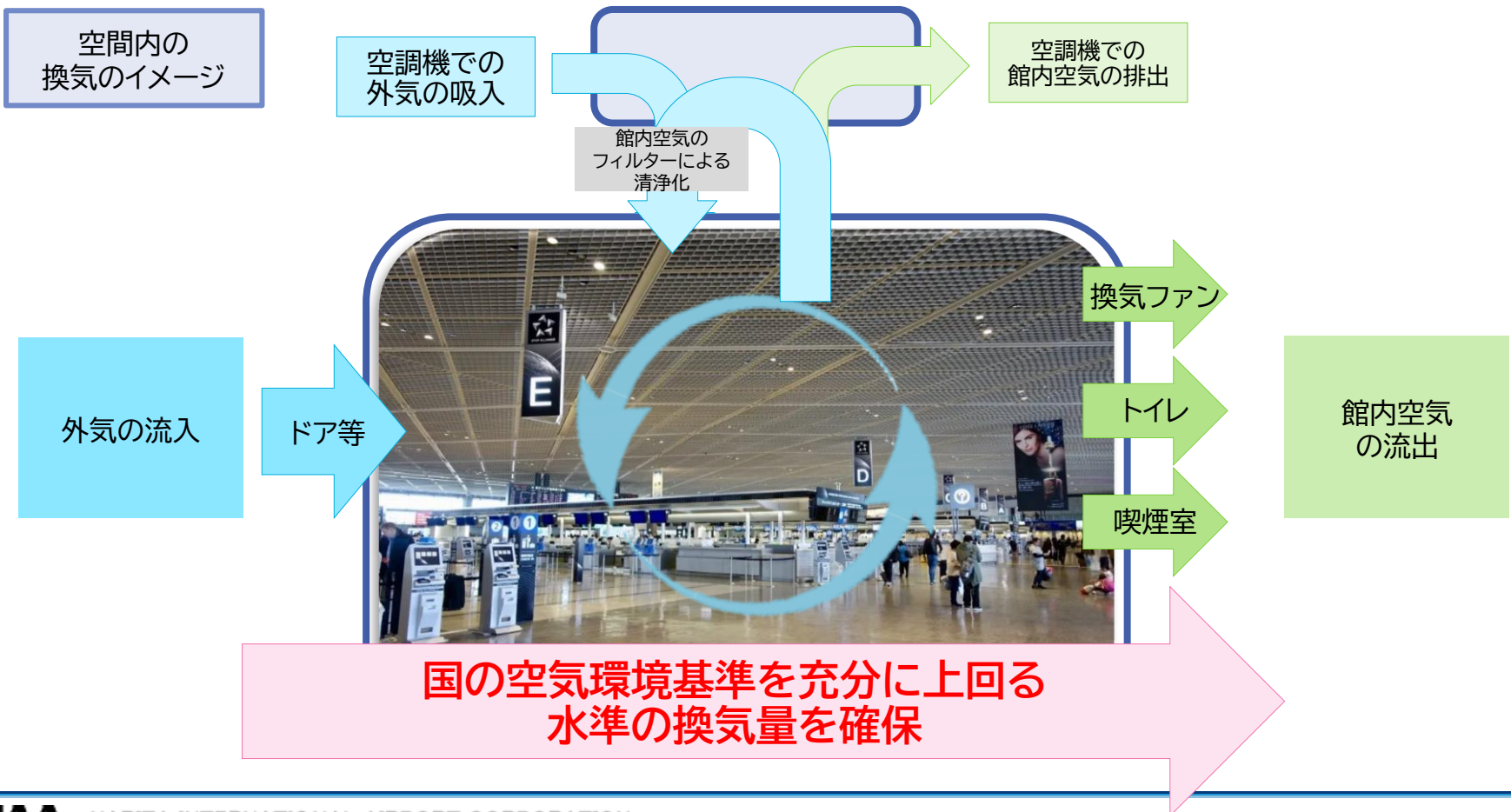
始業時・終業時を含めこまめな手洗い、消毒液のご使用をお願いいたします。

また、各事業者管理の施設等について、こまめな消毒・清掃をお願いいたします。

空港内の換気の強化

- 空調機の運用については、外気取入れ量の増、および空調運転時間の延長を実施
- 「推奨される換気方法」として専門家検討会で示されたビル管理法(※)における空気環境基準を十分に上回る水準の換気量を確保

※「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、ビルを安全に衛生的に管理すること目的にしているもの

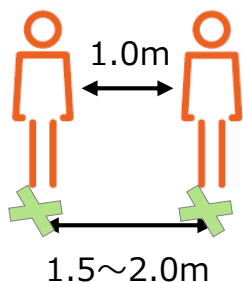


- 待ち行列におけるソーシャルディスタンスの確保(最低1.0m以上(※))を考慮した運用を実施
- 搭乗待合スペース、ロビー等の座席間隔の確保(1座席間隔)

※以下ガイドラインにおいて、定義

「航空分野における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」((定期航空協会・(一社)全国空港ビル事業者協会)
”Aviation Operations During COVID-19 Business Restart and Recovery”(ACI 国際空港評議会)

<ソーシャルディスタンスマーカーの設置>



カウンター・保安検査場前の待ち列



<座席間隔の確保>



ターミナル館内の座席

<お客様へのお願い>

床の目印(マーカー)等を参考に、他のお客様との距離を取っていただくようお願いいたします。

<空港内事業者様へのお願い>

各事業者管理の施設等において、ソーシャルディスタンスマーカーの設置や座席についても一定の間隔の確保をお願いいたします。

- お客様へ館内放送やデジタルサイネージ、HP・SNS等やアクセス事業者との連携により感染対策のご案内・ご協力依頼の情報を発信中
- 『成田空港の感染症対策の取り組みとお客様へのお願い』(動画2分程度)を作成し、HP・SNSで発信予定

<デジタルサイネージのご案内>

<ホームページ・SNSのご案内>

<お客様向けご案内> ※ピクトグラム

- 各事業者様におかれましては、引き続き政府の方針および各業界のガイドラインに沿った感染予防対策の実施をお願いいたします。
- また、空港従業員の感染予防の観点から、以下の通り「航空分野における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(※)に基づく対策をお願いいたします。
- 各事業者様の感染症対策の標準的な取り組み指針として「成田空港新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を作成し、各事業者様に配布いたします。なお、対策にあたっては、各事業者様および各業界の感染予防に関するポリシー等を優先していただいて差支えございません。

①従業員の健康管理の徹底

- 勤務前の体調確認等
- 症状に応じ、自宅待機となった従業員の健康状態の確認等

②通勤・勤務形態への配慮

- 業務内容を踏まえ、テレワーク、時差出勤等の活用
- 出勤時において、マスク着用
- 勤務時において、業務内容・就業場所に応じてマスク又はフェイスシールドの着用
- 公共交通機関利用時の会話を控えることの徹底
- 不急の集合会議、出張等の抑制など

③休憩・休息時

- 休憩休息時のソーシャルディスタンスの確保
- 手洗い、多数が接触するものは消毒の徹底
- 従業員食堂などでの座席の間引きなど

④備品・器具

- 多数が接触する器具、ハンドル、ノブなどの消毒の徹底
- 飛沫感染防止に考慮したごみ処理の徹底
- マスク、消毒液等の備蓄管理の徹底
- 各事業者管理の施設等において、ソーシャルディスタンスマーカーの設置や座席数の制限

⑤室内換気

- 空港内の事務室、従業員休憩室、ロッカー室などは、国の空気環境基準を充分に上回る水準の換気量を確保しています
- 吹き出し口、吸い込み口を妨げるような家具、荷物の配置をしないようお願いします

⑥見学・視察受入抑制

- 一般向けの施設見学など、不要不急な部外者の立ち入りを控えるようお願いいたします

※ 「航空分野における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
(定期航空協会・(一社)全国空港ビル事業者協会:令和2年5月14日策定、5月28日改訂)

成田空港における
感染症対策の
取り組み

お客様及び空港事
業者様へのお願い

今後の取り組み

- お客様と航空会社スタッフとの接触機会を減らすため、セルフサービス型の搭乗手続きを拡充
- 保安検査場など混雑が発生しやすいタッチポイントにおける待ち時間について情報提供も実施予定

チェックイン手続き



※イメージ

webチェックイン



自動チェックイン機

手荷物預け手続き



自動手荷物預け機

<お客様へのお願い>

webチェックインなどを航空会社が提供している場合は、事前にチェックイン手続きをお済ませの上、ご来港ください。

空港での手続きでも、利用可能な場合は、自動チェックイン機などセルフサービス型のお手続きを積極的にご活用ください。

顔認証による非接触型搭乗手続きの導入 ～One ID～

- 今後、顔認証技術を活用したいわゆる「顔パス」による搭乗手続き(One ID)を導入予定
- これにより、航空会社スタッフとお客様が本人確認のために接触することなく、顔認証(非接触)だけで搭乗が可能となる

※One IDとは、チェックイン時など、空港での最初の手続きで顔写真を登録すると、その後の手荷物預けや保安検査入口、搭乗ゲートでの各手続きにおいて、「搭乗券」や「パスポート」を提示することなく、“顔パス”(=非接触)で通過できる新たな搭乗手続き

One IDの手続きの流れ

